



今月の題字
かのん
赤松花音ちゃん
(山田南小3年)

町のわたい

船越の伊藤喜藏さんが100歳 ともに笑顔で長寿を喜び合う

船越の伊藤喜藏さん(明治41年生まれ)が11月19日に100歳を迎えました。22日には沼崎喜一町長が自宅を訪れ「おめでとうございます。元気で長生きしてください」と長寿祝い金を手渡しました。伊藤さんは身の回りのことは自分でこなし、近くを散歩することもあるなどとても元気なご様子。この日伊藤さんはパースデーケーキのろうそくの火を力強く吹き消し、お祝いに集まった親族の皆さんとともに長寿を喜び合っていました。



山田中2年生が職場体験 働くことの尊さや意義を学ぶ

11月12日、山田中学校(小野寺悟校長・生徒519人)の2年生174人が職場体験学習を行いました。進路学習の一環として行われたもので、生徒たちは町内32カ所の事業所を訪問し、仕事の手伝いや業務内容の見学を行いました。このうち、北浜町の菓子店には女子生徒13人が訪れ、お菓子作りや梱包作業に挑戦。生徒たちは、焼き上がったせんべいを袋に詰める作業などを行いながら、働くことの尊さや意義について学びました。

山田中吹奏楽部が町に善意 コンサートの益金で車いす贈る

山田中学校の吹奏楽部(山崎宥美部長・部員31人)から町に車いす1台が贈られました。これは、10月13日に開催されたチャリティーコンサートで集めた募金で購入されたものです。贈呈式は11月12日に役場町長室で行われ、山崎部長(2年)と前部長の福士葉粒生さん(3年)、前副部長の澤村美咲さん(同)が出席。福士さんが「町の福祉に役立ててください」と沼崎喜一町長に車いすを贈りました。これに対し沼崎町長は「先輩の皆さんが積み重ねてきた福祉の心を後輩にも受け継いでいってください」とお礼を述べました。この車いすは、山田町社会福祉協議会を通じて高齢者や障がい者に貸し出されます。



第26回県海の子絵画展 昆君(織笠小6年)の作品が最優秀賞

第26回岩手県海の子絵画展(県信漁連、県内漁協主催)で、織笠小6年の昆雅人君が最優秀賞の信漁連代表理事会長賞に選ばれました。沿岸の小中学生を対象にしたもので、小学生の部には1,194点の応募がありました。昆君の作品は、昆君自身がホタテの汚れを落とす作業をしている様子を描いたものです。受賞について、昆君は「とてもうれしいです。絵を描くことが好きなので、これからも絵を描き続けたい」と喜びの声を寄せてくれました。

県海の子絵画展で最優秀賞に入賞した昆雅人君(右写真) / 昆君の作品「ホタテたたき」



高校生の詩コンテスト 伊藤さん(山田高2年)が佳作に入選

関東学院大学が主催する第5回全国高校生フォーラム「高校生の詩~伝えたいこの想い」コンテストの英語部門で、山田高2年の伊藤亜紀子さんの「My favourite place」が佳作に入選しました。同コンテスト英語部門には全国から80編が寄せられ、読書が好きな伊藤さんは図書室を大切に思う気持ちを英語の詩で表現。見事佳作に入選しました。伊藤さんは「詩を書くのも初めてでしたし、入賞なんて思ってもいないことでもとてもびっくりしました。日本語で書いた詩を英語で表現するのに苦労しました。本を読むことが好きなので、将来は本にかかわる仕事がしたい」と話していました。

「ふるさとCM大賞」審査会 山田町が初の栄冠に輝く

11月23日、岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞 in IWATE 2008」の審査会が盛岡市で開催されました。同CM大賞は、県内市町村が地元をPRする30秒の手作りCMで古里自慢を競い合うもので、7回目となる今年は31市町村が参加。本町からは役場総務課が制作した「かきくけこ?」を出展しました。作品は阿部伊祥ちゃん(織笠・6)と祖父の阿部喜藏さん(70)、祖母のフミさん(67)のほか、カキ生産者の皆さんが出演。出演者の皆さんが方言を織り交ぜながら、山田のカキをPRしたものです。審査の結果、本町初となる大賞を受賞し、副賞として本町のCMが年間に県内で365本、東北各県でそれぞれ20本放送されることになりました。同審査会の模様は、12月27日午後4時から同局で放送されます。

